

2020年度

S 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I . 次の文1～4を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 日本へ仏教が伝来し、しだいに広がりをしめすようになったのは6世紀のことである。7世紀前半には日本における最初の仏教文化とみなされる飛鳥文化が広まった。飛鳥文化の成立には渡来人が寄与しており、百済、高句麗、中国南北朝時代の文化の影響を大きく受けている。この時期、数々の著名な寺院¹⁾が創建された。寺院にはすぐれた仏像彫刻、絵画、工芸品などが所蔵され、当時の文化の高まりがうかがえる。(イ)がつくったといわれる法隆寺金堂釈迦三尊像など、中国北魏の様式の影響を強く受けている。後の日本文化に欠かせない紙、墨、絵の具の製法が五経に通じた高句麗の僧(ロ)によって伝えられたのもこの時代である。暦法を日本に伝えたとされる百済の僧(ハ)は天文、地理の書などももたらした。

飛鳥文化に続く7世紀後半から8世紀初頭にかけての文化を白鳳文化という。国家的に仏教の興隆がはかられ、寺院を建立する地方豪族もあらわれた。また豪族たちは、中国的教養を受容し漢詩文をつくるようにもなった。日本で発達した和歌も形式が完成し、数々の歌人が登場する。すぐれた作品はのちに『万葉集』²⁾におさめられた。

2. 平安末期から鎌倉中期にかけて、仏教革新の運動が展開された。(ニ)は戒律を尊重して律宗を復興するとともに、慈善救済や土木事業など社会への寄与に努め、身分の上下を問わず幅広い信徒を得た。(ニ)の弟子である忍性は、奈良でハンセン病患者らの救済施設である(ホ)を建てたと伝えられており、やはり慈善救済や土木事業に力を注いだ。

民衆の救済を説く新たな仏教の先駆者のひとりに法然³⁾がいる。彼はひたすら念仏を唱えれば死後は極楽浄土へ往生できるとする専修念仏の教えを説き、浄土宗を開いた。迫害を受けながらも布教を続け、信徒は各地に拡大した。その他、様々な僧が活躍し⁴⁾、彼らを開祖とする宗派が広がった。

この時代、文学、建築、仏教彫刻⁵⁾、絵画、書、工芸においても新しい潮流が現れるとともに、宋、元の強い影響を受けながら各地で陶器の生産が発展をとげた。

3. 日本にキリスト教が伝わったのは16世紀のことである。ヨーロッパ諸国は海外貿易の拡大とキリスト教の布教を一体化して展開し、東アジアへの進出をはかった。日本がヨーロッパと直接、交流するようになった端緒は1543年に種子島に漂着したポルトガル人が持っていた鉄砲⁶⁾を島主が買い上げたことにあり、これが南蛮貿易のはじまりになった

と考えられる。

1549年、スペイン人でイエズス会に所属する宣教師（ヘ）が鹿児島に上陸した。彼は領主島津貴久の許可を得てキリスト教の布教を行ない、さらに全国で布教する許可を天皇や将軍から得ようと京都へ行ったが、不安定な政情からその希望を叶えることはできなかった。その後、何人かの大名の保護を受け、その領内などで布教を広げ、来日から2年後に離日した。1563年にはポルトガルのイエズス会宣教師（ト）が来日した。のちに『日本史』を著した彼は京都で織田信長に会うことができた。1579年にはヴァリニャーニも来日した。天正遣欧使節を勧めた彼は活字印刷術ももたらした。ポルトガル国王はイエズス会の布教活動を支援し、南蛮貿易による利益の一部をイエズス会に寄付することとしていた。南蛮船は布教が可能な大名領の港に停泊して南蛮貿易を行なったことから、布教と貿易は連動していた。これに対して豊臣秀吉は後にバテレン追放令を出し、宣教師の国外追放を命じた。このときキリスト教を棄教しなかった播磨国明石城主（チ）は領地をとり上げられた。

当初はキリスト教を黙認していた江戸幕府は、禁教令を出して宣教師や信徒に弾圧を加えた。こうした弾圧の影響などもあって、1637年には島原・天草一揆が起きた。⁸⁾

4. 明治新政府は神道国教化の政策をとり、当初はキリスト教を禁止した。そのため1868年に長崎の（リ）で潜伏キリシタンが逮捕され、各地へ流罪となった。これに対して欧米諸国が厳しく抗議し、新政府は1873年に禁教を撤回した。

明治初期に来日した札幌農学校のクラークや熊本洋学校の（ヌ）ら外国人教師の影響もあり、キリスト教はヨーロッパ文明を象徴するものとして知識人などから徐々に広がり、信徒は増えていった。信徒の中にはキリスト教及びヨーロッパの近代思想の啓蒙家として活動をする者も現れた。しかし国家主義の風潮が徐々に高まると、またさまざまな圧迫がなされるようになった。¹⁰⁾

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～10)にそれぞれ対応する次の問1～10に答えよ。解答はそれぞれに与えられたa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。

- a. 飛鳥寺は物部氏の氏寺であった
- b. 百濟大寺は後に大官大寺と改称され国分寺として各地に設置された
- c. 四天王寺には後に光明皇后が施薬院を創設した
- d. 法隆寺には玉虫厨子が伝えられた

2. これに関する記述として正しくないのはどれか。

- a. 東歌と防人の歌が収録されている
- b. 漢字の音と訓を組み合わせて日本語を表す万葉仮名で表記されている
- c. 勅撰和歌集として藤原公任が編纂に関わった
- d. 山上憶良の「貧窮問答歌」が収録されている

3. この人物に関する記述として正しいものの組み合わせはどれか。

- i. 勸進聖と呼ばれ東大寺再建に活躍した
 - ii. この人物の絵伝が知恩院に残されている
 - iii. 『選択本願念仏集』を著した
 - iv. 宋に渡り新しい仏教を学んだ
- a. i と ii b. i と iv c. ii と iii d. iii と iv

4. これに関する記述として正しいのはどれか。

- a. 悪人正機を説いた親鸞は、『類聚神祇本源』を著した
- b. 踊念仏で民衆に仏教を教えた日蓮は、『立正安国論』を著した
- c. 座禅に徹することを説いた道元は、『正法眼蔵』を著した
- d. 臨濟宗の祖となった栄西は、『古今著聞集』を著した

5. これについて鎌倉時代の作品はどれか。

a.



b.



c.



d.



6. これに関する記述として正しくないのはどれか。

- a. 和泉の堺、近江の雑賀、紀伊の国友などで大量生産された
- b. 刀狩令では百姓がこれを所持することも禁止された
- c. これを伝えたポルトガル人は、中国人密貿易商の王直の船に乗っていたとされる
- d. 戦国大名は足軽を組織化して戦法をかえ、築城術なども変化させた

7. これを派遣した大名の組み合わせとして正しいのはどれか。
- i. 有馬晴信
 - ii. 大内義隆
 - iii. 大村純忠
 - iv. 伊達政宗
- a. i と ii b. i と iii c. ii と iv d. iii と iv
8. これに関する次の文 i・ii について、その正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。
- i. 一揆勢を率いたキリスト教徒の多くは、キリシタン大名の寺沢氏と小西氏の旧領の牢人であった
 - ii. 幕府は九州の諸大名など12万人余りの大軍を動員し、老中松平信綱を派遣して、これを鎮圧した
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
- c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
9. これに関する記述で正しい組み合わせはどれか。
- i. コンドルは、オリザニンの抽出に成功しビタミンB1を発見した
 - ii. フェノロサは、岡倉天心と東京美術学校の設立に尽力した
 - iii. ヘボンは、診療所と英学塾を開き、ローマ字の和英辞典をつくった
 - iv. モースは、日本銀行本店の設計など建築学に業績を残した
- a. i と ii b. ii と iii c. ii と iv d. iii と iv
10. これに関する記述として正しいのはどれか。
- a. 内村鑑三は天皇暗殺を計画したとされる大逆事件に連座した
 - b. 北村透谷は自由民権運動に参加した後、キリスト教に入信し、『文学界』を創刊した
 - c. キリスト教社会主義者であった木下尚江は『職工事情』を著した
 - d. 新渡戸稲造の『武士道』は英語など多くの言語に翻訳され海外で紹介された

Ⅱ. 次の文1～4を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 安政の五カ国条約の締結を踏まえて、1859年に横浜・長崎・箱館の3港で自由貿易が開始された。貿易は輸出品を扱う売込商や輸入品を扱う（イ）が居留地の外国人商人とおこなった。1865年の輸出品をみると、全体の約80%を生糸が占め、以下、茶、（ロ）と続く。こうした生糸輸出の拡大は製糸業を急速に発展させ、マニファクチュア化を進展させた。¹⁾²⁾
2. 明治政府は金融制度の形成に着手し、渋沢栄一が中心となって国立銀行条例を制定した。しかし、設立された銀行は第一国立銀行など4行にとどまった。³⁾そのため1876年に条例が改正され、これ以降続々と銀行が設立された。また政府は殖産興業政策を進め、富岡製糸場や深川セメント製造所など官営事業を立ち上げた。⁴⁾この政策は工部省を中心に進められたが、1873年からは新たに設置された内務省が加わり、軽工業や農業・牧畜を担当した。その後、松方財政による貨幣・金融制度の整備を背景に、多くの会社が設立され、日本の産業革命がはじまった。紡績業では大阪紡績会社の成功を契機に大規模な機械制紡績会社の設立があいつぎ、製糸業では1894年に器械製糸の生産高が座繰製糸の生産高をしのいだ。また、重工業では鉄鋼の国産化をめざして官営八幡製鉄所が設立され、1901年に操業が開始された。他方、民間の工作機械工業では、日清戦争前に創業された（ハ）が、1905年に先進国なみの精度をもった標準旋盤の国産化に成功した。⁵⁾こうした産業化の進展と同時に農業構造も変化した。松方デフレ以降も小作地率は上昇し、地主層はその収益を株式市場などに投資することで資本主義的経済発展の担い手の1つとなった。⁶⁾
3. 第一次世界大戦の勃発により日本経済は大きく発展する機会を得た。連合国への軍需品、アメリカへの生糸、アジア市場への綿織物など、日本の輸出が大きく拡大した。また、これを契機に重化学工業化が進展し、西原借款の供与や在華紡の進出など資本輸出も拡大した。しかし、戦後にヨーロッパ列強の復興が進み、その商品がアジア市場に再登場すると、日本の大戦景気は急速に収縮し、一転して不況に突入することとなった。大戦景気により急成長した（ニ）が破綻し、これに巨額融資をしてきた台湾銀行も経営危機におちいった。憲政会の第1次若槻礼次郎内閣は緊急勅令による台湾銀行の救済をはかるが、この勅令案が否決され内閣は総辞職に追い込まれた。この勅令案の否決と内閣総辞職を契機に金融恐慌が全国に拡大した。こうした金融恐慌の過程で銀行の淘

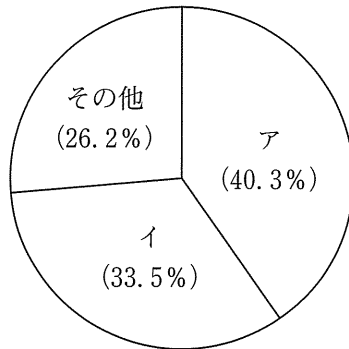
汰・合併が進み、預金は大銀行に集中し、財閥系などの五大銀行が金融支配を強めた。しかし、三井と（ホ）の関係に見られるように、財閥と政党のつながりは国民によく知られており、これが政党への反感を強める一因ともなった。

4. 戦後の日本経済は1955年ころから年平均10%前後の世界でも例のない高い実質経済成長率を達成し、耐久消費財の普及が急速に進んだ。また、日本は1964年に国際通貨基金8条国に移行し、経済協力開発機構にも加盟した。高度経済成長の時代には国民の所得水準も上昇し、均質化した生活意識を反映した中流意識が強まった。しかし、高度経済成長を支えた割安な円相場と安価な石油資源という条件が失われたことで、高度経済成長の時代は終焉する。日本列島改造論を唱えて積極財政を展開した田中角栄内閣の下でインフレーションが進行し、国際原油価格の高騰がこれに拍車をかけた。田中首相は内閣を改造し、均衡財政を主唱した政敵の（ヘ）を大蔵大臣に起用し、経済政策を高度成長路線から安定成長路線へと大きく転換した。（ヘ）は、その後首相に就任すると内需拡大を掲げて貿易黒字・円高不況に対処するとともに日中平和友好条約を締結する。他方、財政と貿易の「双子の赤字」をかかえていたアメリカは1980年代半ばに純債務国へと転落する。これに対応するため先進五カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）は、ドル高の是正と為替市場への国際的協調介入に合意する。これを契機に円が急騰し、日本は一時的な円高不況にみまわれるが、内需拡大や企業の経営合理化などを進めて不況を脱し、むしろ日本経済には貿易黒字や海外投資収益が集積された。こうした資金は不動産市場や株式市場に投じられ、投機対象となった不動産価格や株価は異常な水準へと高騰した。無責任な金融行政と企業や金融機関の常軌を逸した投機行動は、実体のない経済膨張であるバブル経済を生じさせた。こうしたバブル経済の崩壊が、日本経済の混迷と長期不況の始まりとなった。

A. 文中の空所(イ)～(ヘ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～13)にそれぞれ対応する次の問 1～13)に答えよ。解答はそれぞれに与えられた a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この1865年の割合で正しい組み合わせはどれか。



- a. ア (毛織物)・イ (綿織物) b. ア (毛織物)・イ (綿糸)
 c. ア (綿糸)・イ (毛織物) d. ア (綿糸)・イ (綿織物)

2. これにより生じた影響はどれか。

- a. 江戸の特権的問屋の流通支配が強まった
 b. 生糸輸出拡大に牽引されて絹織物業が発展した
 c. 原料不足により絹織物業が打撃を受けた
 d. 幕府が生糸を産地から横浜に直送することを命じた

3. これが模範とした制度はどの国のものか。

- a. アメリカ b. イギリス c. ドイツ d. ベルギー

4. この理由として正しいのはどれか。

- a. 銀兌換券の発行が認められた b. 金融債券の発行が可能となった
 c. 正貨兌換義務が免除された d. 地券が銀行券の発券抵当公債とされた

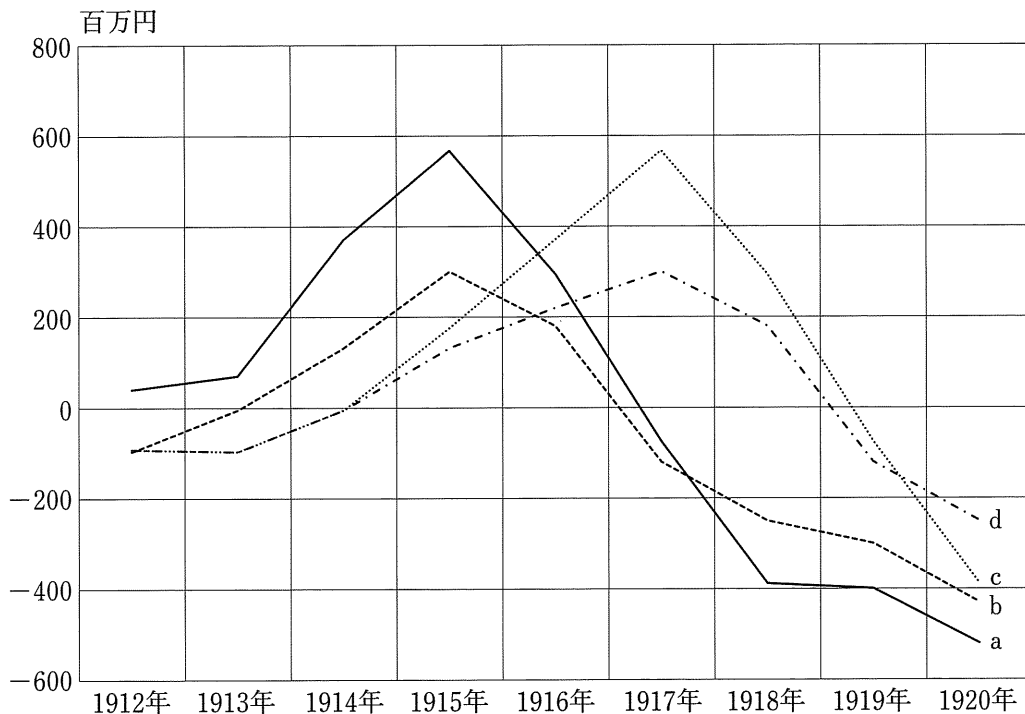
5. この操業に際して導入された技術はどの国のものか。

- a. アメリカ b. イギリス c. ドイツ d. ベルギー

6. これに関する次の文 i・ii について、その正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。

- i. 小作料は高率かつ金納であった
 ii. 地租は耕作者である小作人に課された
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

7. この時期の貿易収支差額を示したグラフで正しいのはどれか。



a. ————— b. - - - - - c. d. - · - · - ·

8. これをしたのはどれか。

a. 貴族院 b. 元老院 c. 枢密院 d. 大審院

9. このなかで1965年に普及率が90%に達していたのはどれか。

a. 乗用車 b. 白黒テレビ c. 電気洗濯機 d. 電気冷蔵庫

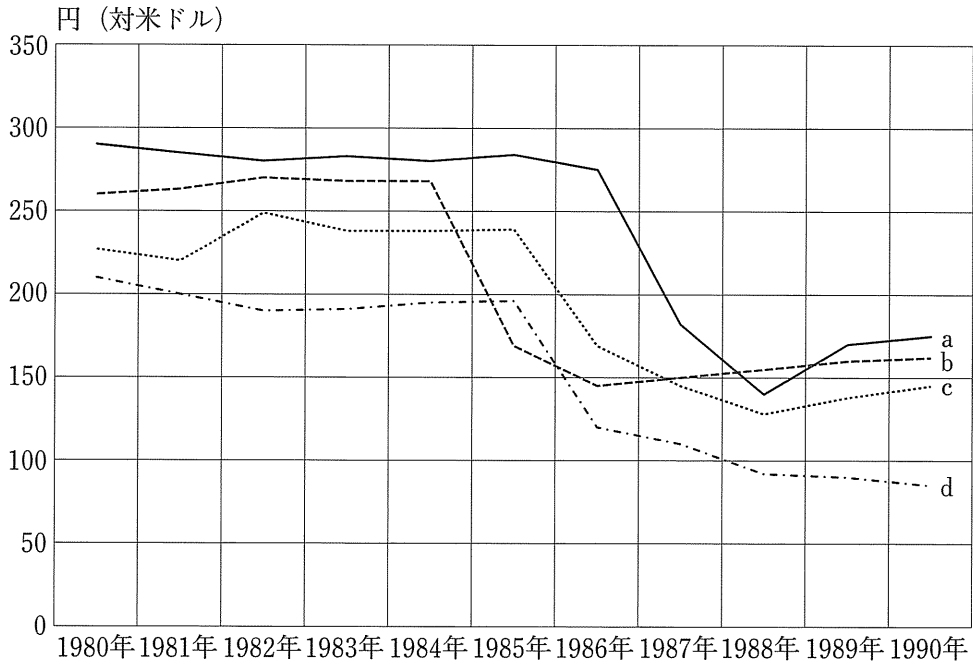
10. これに関する記述として正しいのはどれか。

- a. 国際収支上の理由で為替管理ができない
- b. 国際収支上の理由で輸入制限ができない
- c. 資本取引の自由化が義務付けられる
- d. 米ドルと自国通貨の交換比率の固定化が義務付けられる

11. これは1986年から新たに2国を加えて7カ国となる。この時に新たに加えられた2国の組み合わせとして正しいのはどれか。

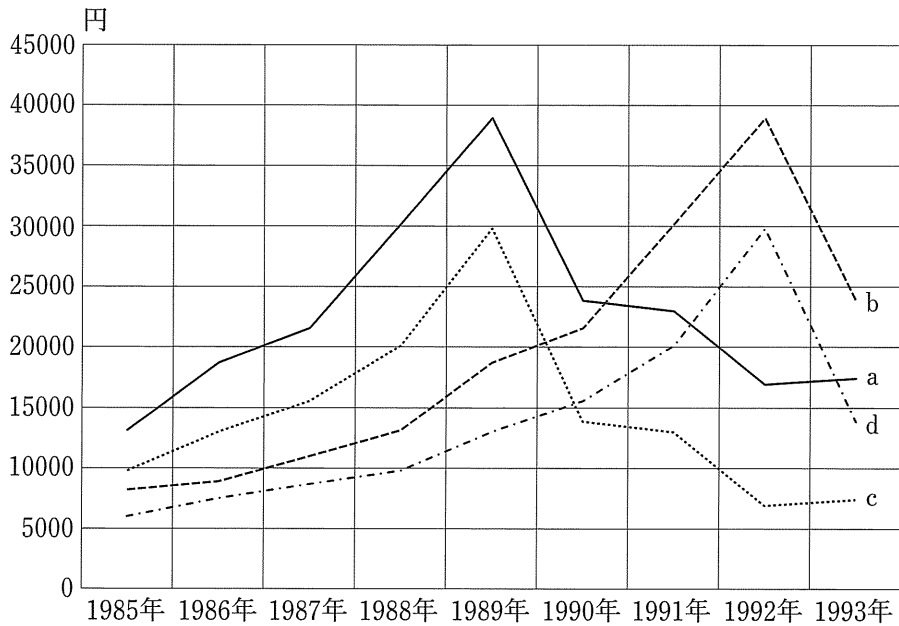
a. イタリア・カナダ b. イタリア・ロシア
 c. カナダ・中国 d. 中国・ロシア

12. これを示したグラフで正しいのはどれか。



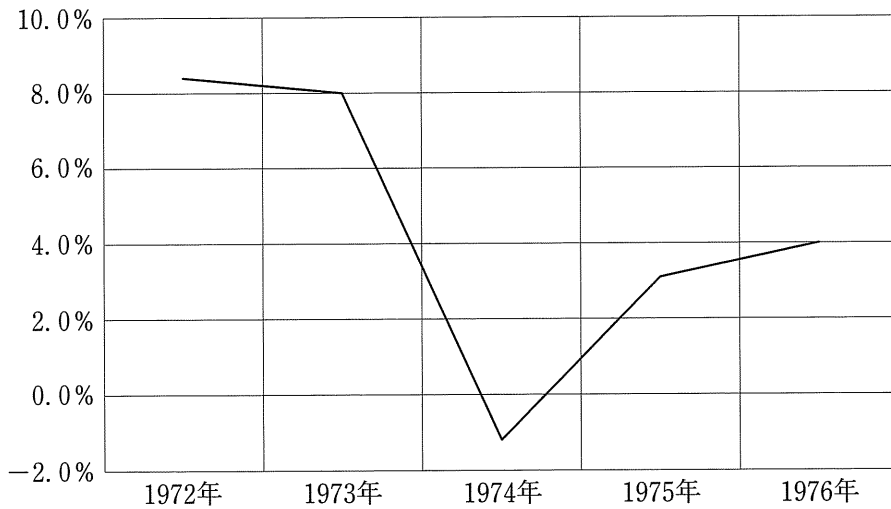
a. ——— b. - - - - - c. d. - · - · -

13. これを示す日経平均株価のグラフで正しいのはどれか。



a. ——— b. - - - - - c. d. - · - · -

C. 下記のア～ツの用語のうち3つを用いて、経済成長率（実質）の変化を示した次のグラフを60字以内で説明せよ。



（内閣府「国民経済計算」より）

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ア. イラン革命 | イ. オリンピック景気 | ウ. 開始 |
| エ. 継続 | オ. 再開 | カ. 終了 |
| キ. 証券不況 | ク. 消費税創設 | ケ. 戦後最短 |
| コ. 戦後最低 | サ. 戦後最後 | シ. 戦後初 |
| ス. 第1次石油危機 | セ. 第2次石油危機 | ソ. なべ底不況 |
| タ. 日米構造協議 | チ. プラザ合意 | ツ. ロッキード事件 |